

AJ

AQUA JOURNAL
Nature Aquarium
information magazine
Oct. 2023 100YEN
vol.
336

SPECIAL FEATURE

NA RED GUIDE

【赤城グラビア】
NATURE IN THE GLASS
夏風あざやか

ADA PLANTS GALLERY #19
「ラージリーフハイグロフィラ」

IAPLC CREATOR'S FILE #09
「Tereza Lazar / Ukraina」

CLOSE UP JUNGLE PLANTS #03
LOVE ADA GOODS #15

ネイチャーコラム 第32回
「ぐにぐにつるつる」





[夏風あざやか]

構図を組む、水草を配植するなど、水草レイアウトで大切なのはバランスであり、その際に黄金比を意識するとよい。本水景では、左右の空間を2:3の割合としたネイチャーアクアリウムの基本的なつくり方に重点を置き、プランチウッドと多種多様な有茎草が目を惹くオーソドックスな凹型レイアウトとした。水景をつくり続けていく上で、天野 尚が確立したネイチャーアクアリウムの不变的な美学に立ち返るような作品になったと思っている。

©AQUA DESIGN AMANO

DATA

撮影日 2018年3月28日(ADA)
制作 本間 裕介(レイアウト制作・文)
水槽 キューブガーデン W900×D450×H450(mm)
照明 ソーラーRGB ×1(1日8時間30分点灯)
ろ過 スーパージェットフィルター ES-600(バイオリオ)
素材 プランチウッド、万葉石
底床 アクアソイル・アマゾニア、パワーサンド・アドバンス M
バクター 100、クリアスパー、トルマリンBC、ラブラタサンド

CO₂ CO₂/パレングラス・ラージ300、CO₂ビートルカウンターで
1秒に4滴(タワー使用)
AIR リリィパイプ P-4によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤 ブライティ K、グリーンブライティ・ミネラル、
グリーンブライティ・アイアン、グリーンブライティ・ニトロ
換水 1週間に1度 1/2
水質 水温25°C pH:6.2 TH:50mg/L

水草 ハイグロフィラ・ピンナティフィダ
グリーンロターラ
セイロンロターラ(BIO)※
ロターラ sp.Hra(BIO)※
ロターラ・ナンセン
ハイグロフィラ・ボリスベルマ
ミリオフィラム・マグロッセンセ(BIO)※
ルドヴィジア・グラヌデュローサ
ボゴステモン・ダッセン
アヌビアス・ナナ 'ブヂ' (BIO)※
ミクロソラム・トライデント
ウイローモス(モスバッグ)※

Hygrophila pinnatifida
Rotala rotundifolia 'Green'
Rotala rotundifolia 'Ceylon'
Rotala rotundifolia 'Hra'
Rotala nanjean
Hygrophila polysperma
Myriophyllum mattogrossense
Ludwigia glandulosa
Pogostemon sp. 'Dassen'
Anubias barteri var. nana 'Petite'
Microsorum sp. 'Trident'
Taxiphyllum barbieri

魚種 ロジイテトラ
ブルーテトラ
レッドテトラ
サイアミーズフライングフォックス
オトシンクルス
ヤマトヌマエビ

Hypseobrycon rosaceus var.
Boehlkea fredcochui
Hypseobrycon amandae
Crossocheilus oblongus
Otocinclus sp.
Caridina multidentata

※はADA生体製品ラインナップです。

鮮やかな有茎草の 凹型レイアウト

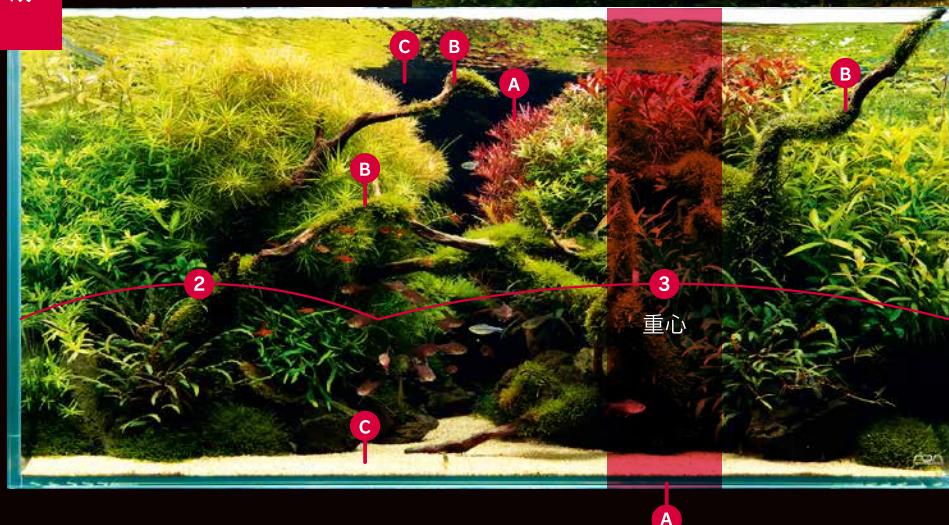
凹型レイアウトは、左右に水草の群落を構成するためワイドな水槽サイズで制作しやすい構図である。本水景のW900では有茎草の植栽スペースを充分に確保し、レイアウトのつくり込みがしやすいうようにプランチウッドを配置している。構図は左側が「2」右側を「3」の割合とした基本的な凹型レイアウトである。流木の枝には明るめのシダ類を配植し、中景から背景にかけて多様な色彩の有茎草を用いることで、全体的に色鮮やかな印象にまとめられている。

Point A

葉のタイプに 差をつけて奥行きをプラス

重心位置に赤系水草を配することでアクセントとなり安定感も得られるが、ここでは葉の大きなルドヴィジア・グランデュローサを手前に、葉の細かなロターラsp. Hraを奥側に配植することで奥行き感を演出している。同じ赤でも濃淡の違いにより印象が変わることも赤系水草を使う面白さである。

完成



Point B

流木の動きを生かした 活着系水草の配置

プランチウッドの特徴的な枝ぶりを生かし、中央空間のアーチが構図のポイントだが、枝先付近をウイローモスのみとし、木肌を露出させるようにまばらに活着させてメリハリをつけている。流木の根元にはミクロソラムなどの活着系水草を配することで明るさと一体感を表現している。

Point C

アクアスクリーンと化粧砂で 水景の美観アップ

水草の輪郭を際立たせ、赤い有茎草の発色をより引き締めた印象とするためにアクアスクリーン・ノーマルタイプのブラックを使用した。さらに前面と抜けの空間を化粧砂にすることで視覚的に高低差が生まれ、かつ明るい印象に。化粧砂で敷き分ける際、中央の道は配石などで手前から奥に向かって範囲を狭めていくと奥行き感がさらに強調される。

NA RED GUIDE

多彩な色味を放つ水草たちの中でもひと際目を惹く赤系水草。ネイチャーアクアリウムにおいて赤い水草は構図バランスを明確化させる役割として、また本誌のNATURE IN THE GLASSでも紹介しているような黄金比のバランスを取る配植などがなされる。一方で赤系水草の多用などコンセプト性の高い植え方や基本となる構図重心以外へも配植を行い色彩豊かな水景を楽しむこともできる。今回はそんな赤い水草たちの生育方法からおすすめ生体製品ラインナップにいたるまで解説をしよう。



水の中の紅葉

W1800×D600×H600 (mm)
AJ Vol.315掲載

「生きた紅葉屏風」というコンセプトを実現するために、あえて背景にはルドウイジア・スーパーイードなどの赤系有茎草のみを配植。手前の流木に活着させたモスやシダの緑色との対比によって、全体的に単調な色彩とはならず逆に背景の赤色はより際立つて見える。



群生の春

W1800×D600×H600 (mm)
AJ Vol.291掲載

流木の際に配植されたタイガーロータス・レッドの深紅の大葉が水景に程良いアクセントと水中感を演出する。また、中景の左右の群生と、背景のやや左側に配植されたルドウイジア・グランデュローサによって赤のトライアングルが形成され構図を明確化させている。

RED GLOW

栄養バランスで色味を上げ 水草本来の赤色へ



Item 01

Green Brighty series

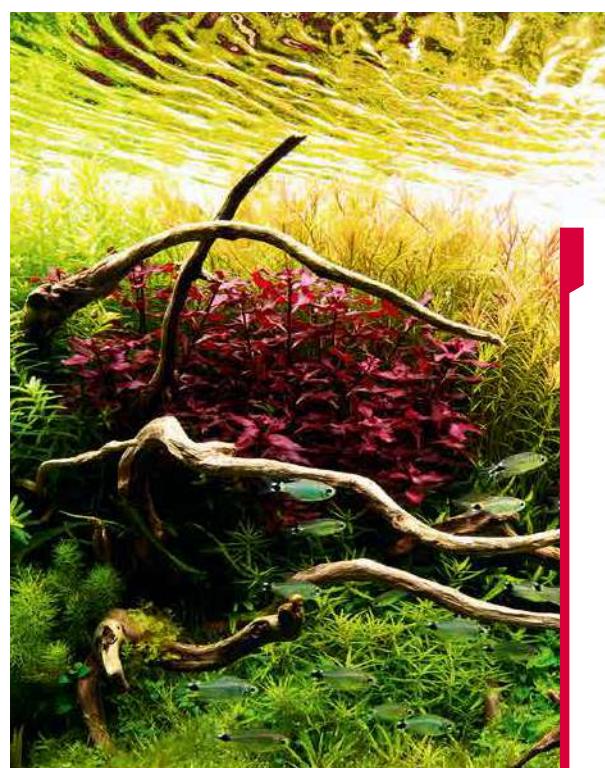
GREEN BRIGHTY MINERAL

生長に必要な栄養素をバランスよく供給する

鉄、マグネシウムなど、バランスよく配合された微量元素を日々補給することができます。ニュートラルKやブライティKと併用して添加することで、必要な微量元素に加え水草の生長に欠かせないカリウムも効率よく吸収でき光合成が活発におこなわれるようになるため、良い発色が期待できます。



栄養素がバランスよく吸収されることで赤、黄、緑などさまざまな色の水草が健康的に育つ。



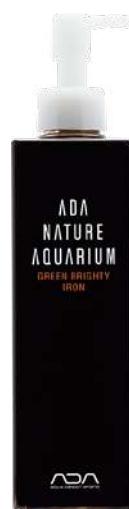
Item 02

Green Brighty series

GREEN BRIGHTY IRON

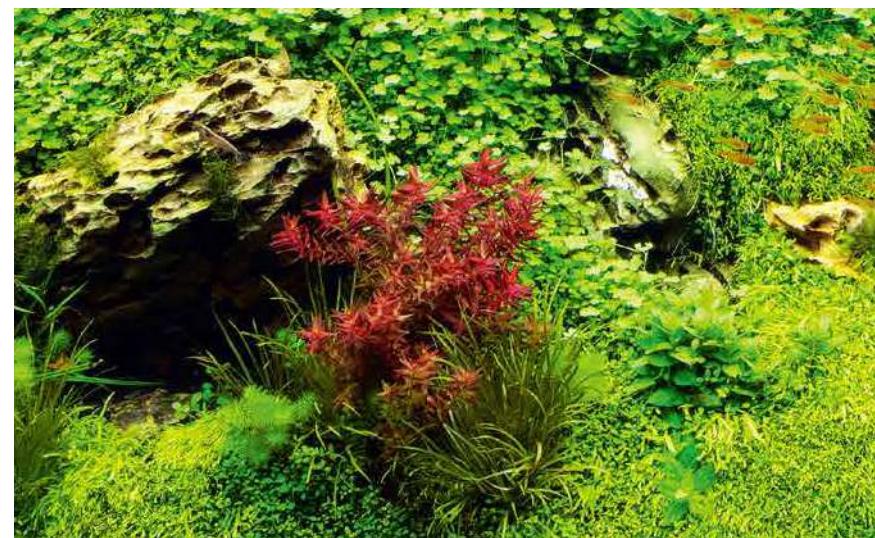
不足しがちな鉄分の補給で発色を促す

水草の健康的な生長と色素合成に必要な鉄分を補給するための液体栄養素です。鉄分の不足は水草の生長点の白化につながります。照明時間やCO₂濃度などの環境を整え、水草の発色と生長を促すグリーンブライティ・ニトロと組み合わせることで赤系水草の発色がより濃く、鮮やかになります。



十分な光量とCO₂添加量に加えて適正な量の鉄分の補給により赤系水草本来の発色を引き出す。

効率よく吸収された鉄などの栄養素により、水草がより強く鮮明な赤色をみせてくれる。



Item 03

Additives

ECA PLUS

色味の改善に特化した赤系水草の強い味方

有機酸と水草に吸収されやすい二価鉄に、色素の合成に欠かせないマグネシウムがプラスされています。グリーンブライティ・シリーズよりも鉄分が強化されており吸収効率も高いため、新芽の白化を改善・予防したいときや水草の発色をより強くしたいときに、短期的な使用で効果を実感しやすい添加液です。



MEMO

ライティングシステム

照度や点灯時間も赤系水草の発色には大きな影響を与えます。照度を高くしたり点灯時間を長くすると高光量によって赤みがより強くなることがあります。



CO₂システム

CO₂添加量が少ない状態では光合成が不十分で発色に必要な栄養素の吸収効率も下がります。充分な量のCO₂添加で光合成を促し健康的に育てることがポイントです。



RED LINE

ADA 赤系水草のオススメ 生体製品ラインナップ

赤い水草と一言で言っても、色鮮やかに赤く染まるものもあれば緑と赤をつなぐ中間色的なオレンジ系など、その色彩バリエーションはさまざま。多彩な赤味を活かすことでレイアウトの幅はさらに広がります。こちらでは、現在ADAでラインナップしているオススメの赤系水草を「佗び草」から3種類、「BIO水草の森」から5種類ピックアップしてご紹介します。

COLOUR CHART ■ …オレンジ系 ■ …赤系 ■ …ピンク系

佗び草

速やかに水中葉を展開する上に各種水草が高密度で根付いているため、最初からボリューム感のある様子が楽しめます。また、植栽の手間が必要ないため手軽にレイアウトに導入できます。



**佗び草
有茎草MIX(赤系) 90Ø**

COLOUR
CHART



ロターラ・Hraなどすべて赤系有茎草で構成された佗び草。細葉のロターラや少し大きめの葉を展開するルドウイジアを混栽していることで、自然感と葉形の違いも同時に楽しむことができます。



新製品

9月発売予定

佗び草 あかり 65Ø

オレンジミリオフィラムやポゴステモン・ダッセンなど、羽状あるいは線形の繊細な葉を展開する赤系有茎草のみで構成された佗び草。鮮紅から橙色に染まるものまでさまざまな赤のグラデーションを楽しむことができます。



**佗び草
ロターラ・ロトンジフォリア グリーンレッド 65Ø**

COLOUR
CHART



変異株をADAで自家増殖したロターラ。環境に応じて色味は明るいオレンジからピンクに色づき高い匍匐性を持ちます。トリミングを繰り返し密度を高めて美しい赤の繁みを楽しむことができます。



新製品

9月発売予定

BIO みずくさの森

長期にわたり水草の鮮度を維持することができる専用の特殊なカップに入れられた水草。害虫および貝や藻類の付着の心配がなく、クリーンな状態で水草を植栽することができます。



**BIOみずくさの森
ロターラ・インディカ**

COLOUR
CHART



明るい赤色に染まるロターラ。緑系有茎草と組み合わせれば、本種の赤味はさらに引き立ちます。



**BIOみずくさの森
クリプトコリネ・スピラリス タイガー**

COLOUR
CHART



細葉系のクリプトコリネ。細長い葉は赤褐色を帯び、よく見ると葉の表面は独特の虎模様があります。



**BIOみずくさの森
ロターラ・ブラッドレッド**

COLOUR
CHART



**BIOみずくさの森
プロセルビナカ・バルストリス**

COLOUR
CHART



**BIOみずくさの森
ハイグロフィラ・ビンナティフィダ 'UK'**

COLOUR
CHART



橙～薄赤に色づくハイグロフィラ・ビンナティフィダ。本種はさらに赤味が強く葉の切れ込みも深くなります。

RED VARIATION

水中で揺らぐ 多彩な赤の魅力

赤系水草にはオレンジ色に近いものから赤色、紫色と言えるものまでその色は一様ではありません。またスイレンやロゼット型の水草など形もさまざまな種類が存在します。ここではネイチャーアクアリウムで楽しめる赤系水草の多彩な葉色の一例をカラー・チャート式に見てみましょう。

1	5	9	13	17	21	25
2	6	10	14	18	22	26
3	7	11	15	19	23	27
4	8	12	16	20	24	28

- 1.ルドウイジア・ブレビペス
- 2.ニューオランダプランツ
- 3.ウォーターバコバ
- 4.ルドウイジア・スマエロカルバ
- 5.ロターラ・マクランドラ グリーン
- 6.ブリクサ・アウベルティ レッド
- 7.ロターラ・インディカ
- 8.ゴイアスドワーフロターラ
- 9.フィランサス・フレイタヌス
- 10.オレンジミオフィラム
- 11.ラゲナンドラ・ミーポルティレッド
- 12.ニードルリーフ・ルドウイジア
- 13.ロターラ・ロトンジフォリア 'Hra'
- 14.ハイグロフィラ・ピンナティフイダ
- 15.アポノゲトン・クリスピスレッド
- 16.ロターラsp. ベトナム
- 17.ホソバウナギツカミ
- 18.ロターラ・マクランドラ
- 19.タイガーロータスレッド
- 20.アラグアイア・レッドシャープリーフ・ハイグロ
- 21.エキノドルス・ファンタスティックカラー
- 22.アルテルナンテラ・レインキミニ
- 23.ロターラ・ロトンジフォリア 'レディッシュ'
- 24.ボリゴナム sp. 'ピング'
- 25.ニムファエアsp. ベルマルドナード
- 26.ルドウイジア・レベンス スーパーレッド
- 27.ニムファエア・マクラータ
- 28.アルテルナンテラ・リラキナ



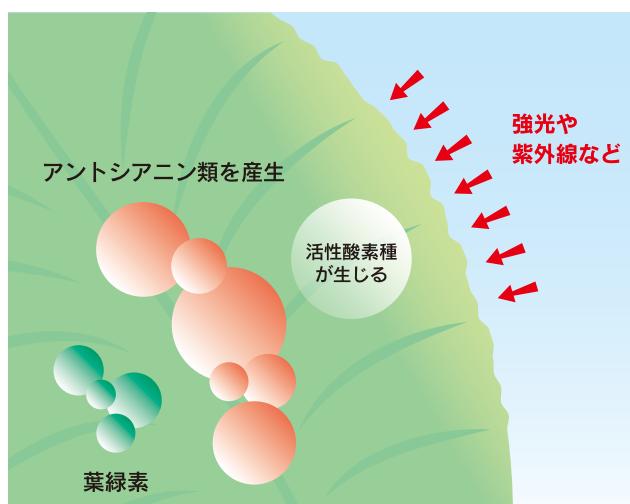
赤くなる植物たち

水草に限らず植物体内では色素合成が行われており、なかでも赤系の色素は、環境応答や二次代謝などによって産生されることが知られている。我々はその鮮やかな発色を観賞し楽しむことができている。ここでは植物の持つ色素について解説し、赤系水草を楽しむうえでの予備知識を紹介しよう。



自然界における色素の役割

植物が赤くなる現象として、私たち日本人に馴染み深い「紅葉」という自然風景が思い当たるだろう。気温や照度などが生長に対する要求量を下回る、秋から冬にかけて生じる生理現象の一つである。気温や照度以外にも、あらゆる要因が植物に対しストレスとなることで、それに対抗するべく色素を含むさまざまな代謝物質を产生する。環境的ストレスとしては、強光や乾燥、水没、塩害といった要因が挙げられる。光環境において光合成に必要な光が強すぎると、消費し切れない光エネルギーによって活性酸素が生じ、細胞が損傷を受けることがある。植物によっては、強光量や光に含まれる紫外線から自身を守るためにアントシアニンやケルセチンといった色素を產生することが知られている。

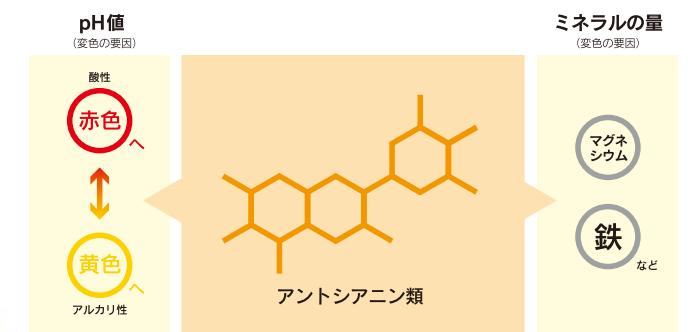


強光ストレスに応答して葉緑素をはじめとする細胞組織を保護するはたらきをもつアントシアニン類が産生される。



水質と色素

代表的な赤い植物色素としてアントシアニンが有名だが、この色素は、植物細胞内にある液胞のpHによって色が変化することが知られている。また液胞内に取り込まれた金属イオンにより錯体が形成されることで、吸収する光の波長が変化するため同じ水草であっても水質により葉色が異なる。



pHによって赤～黄色に近い色味となり、鉄イオンやマグネシウムイオンを中心とした錯体が形成をされ変色する。



水槽内で赤くなるメカニズム

自然界では根域もしくは植物体全体が水没した際に、低酸素による酸素欠乏がトリガーとなり赤系の色素合成が起こることが知られている。ネイチャーアクアリウムでは二酸化炭素を添加することにより、水中の二酸化炭素が飽和に近づき、ガス交換効率が低下し疑似的な酸欠がトリガーとなることが考えられる。水槽用照明器具の発展により水中へ強い光が到達するようになり、色素産生の促進が可能となつた。その結果、従来よりも光合成が活発になることで糖類生産および赤系色素の合成が促され、鮮やかな発色が観賞できるようになった。



水中の葉は緑色だが水没している葉が赤く染まり始めているショウジョウタデ。水位変動など環境変化に対してたくましく適応をしている様子が見られる。

ネイチャーアクアリウムにおける醍醐味の一つには多様な水草の栽培が挙げられる。その中でも目を惹く赤い水草について既知の栽培手法は必ずしも多くないため、赤系水草のよりよい観賞のための水質や光の波長、適切な光量といった栽培環境を含めた栽培方法について今後も調べていきたい。



大型ハイグロフィラの代表種

ラージリーフハイグロフィラは鮮やかなライトグリーンが印象的な東南アジア原産の水草で、高さ50cm、葉長は15cmほどにまでなる比較的大型の有茎草です。アクアリウムでは本種よりも古くから知られているテンプルプランツにも似ていますが、本種は葉幅がより狭く葉柄が極端に短いこと、節間も密になることが特徴です。レイアウトではW900mm以上の水槽サイズが好ましく、植栽スペースも広めに取りましょう。

種小名のcorymbosaは「散房花序の」という意味。花柄が枝分かれして複数の花をつける。



多様な生体製品を開発している
ADAの生産開発部（通称「グリーンラボ」）
このコーナーではラボで扱う植物の豆知識や
時折見せてくれる素顔の一部をご紹介します。

ADA PLANTS GALLERY

19[#] *Hygrophila corymbosa 'Stricta'*

ラージリーフハイグロフィラ

Text_Kota Iwahori



ラージリーフ
ハイグロフィラ

ニューラージリーフ
ハイグロフィラ



ニューラージリーフハイグロフィラは濃い黄緑で赤味を帯びた茎がやや目立つ。葉の色も暖色に染まることもある。

優雅な水中世界をつくる

草体が大きいためにレイアウトでの印象が重くなってしまうと思いがちですが、実際には軽やかなライトグリーンが目を引き、柔らかく流れに揺れる姿からは独特な優雅さを感じます。近年、レイアウトスタイルの変化により見る機会が少なくなりましたが、ラージリーフハイグロフィラの圧巻の群生美を見て大型水槽への憧れを抱いた水草愛好家も多いのではないでしょうか？



大ぶりなラージリーフハイグロフィラを背景に組み込むことで密生しない箇所ができ水の通り道ができる。自然と魚もヒレを休めるポイントに。

大葉と新大葉

ラージリーフハイグロフィラよりもやや小型の葉を開展させるニューラージリーフハイグロフィラという水草もあります。「タイストリクタ」や「ラージリーフハイグロナロー」などの名前で流通するものもおおよそこれに当たるでしょう。単にラージリーフハイグロフィラの小型版というわけでもなく、茎は赤褐色であり葉が少し上向きに付いたため、その群生はまとまりがありやや綺麗な印象になります。

IAPLC CREATOR'S FILE #09

Tereza Lazar



PROFILE

テレザ・ラザル

Tereza Lazar

年齢 / 51歳
国名 / ウクライナ
職業 / 市議会議員
アクアリウム歴 / 9年
趣味 / 裁縫
(着る服のほとんどが自作です)
過去の受賞歴 /
IAPLC 2017 79位
IAPLC 2019 172位
IAPLC 2020 45位
IAPLC 2021 117位
IAPLC 2022 23位

重要なことはアクアリウムを愛し、心の底から楽しみ、幸せを感じること。

Q 水草レイアウトを始めたきっかけは何ですか？

祖父が私をアクアリウムの世界に引き込んでくれました。彼のもとに訪問では、常にアクアリウムに魅了されていました。その後、祖父から水槽と魚をもらったことをきっかけに、それらを世話することが好きになりました。私が大人になり、結婚し息子が誕生してから、息子にも水槽を贈りました。想像し得なかつたことですが、その瞬間、自身の人生において一番の趣味だと感じたことを覚えています。

Q 水草レイアウトのどのようなところに魅力を感じますか？

水草はアクアリウムに命を吹き込みます。色、輝き、動きのすべてがアクアリウムに躍動感を与えてくれます。私は水草の生長やその変化を観察することが好きです。非常に

ワクワクすると同時に、育成にはスキルが求められることだと感じます。

Q レイアウトのテーマやモチーフ、アイデアはどこから得ますか？

私は自然を愛しています、また、森の中や川辺を歩くのが好きです。興味深い森の風景を写真に収め、それらからインスピレーションを受けています。

Q レイアウトを制作していく過程で、苦労した点や工夫した点はありますか？

私がつくるほぼすべてのアクアリウムは、実際に森で採集してきた流木を使用しています。細部までこだわっており、すべての石や流木がしかるべき場所に存在する必要があると思っています。そのため、制作したいレイアウトのイメージに合う素材の入手、構図の制作には多くの時間を費やしています。

ADAグッズ



お気に入りのADAグッズ。安定した水槽内の環境づくりに欠かせない。

テレザ・ラザルさんのSNSアカウント



世界的な水草レイアウトコンテスト「IAPLC」。IAPLCクリエイターズファイルでは、その上位入賞者にインタビューを行い、上達の秘訣や水草レイアウトに対するこだわりを紹介いたします。



隠れ谷 Aquarium Size W900×D500×H400(mm)

水草:ミニニアグラス/キューババールグラス/バールグラス/ティディプリス・ティアンドラ/グラティオラ・ヴィスクデューラ/ハイグロフィラ・ビンナティフィダ/マヤカ/ゴールデンネサエア/ロターラ・マクランドラ・バタフライ/ロターラsp.エニー/ロターラ・オレンジジュース/ロターラ・Hra/グリーンロターラ/ロターラ・ヤオヤイ/クリプトコリネ・ルテア・ホビット/

アヌピアス・ナナ・ブチ/アヌピアス・ナナ・パンゴリノ/台湾ファン/ブセファランドラsp./ブセファランドラ sp.ランダウ ミニレッド/ボルビティス・ヒュドロツティ/ボルビティス・ベビーリーフ/ボルビティス sp./マルシレア・ドルモンディ/フィシデンス・フォックス/プレミアムモス/クリスマスマス/ウーピングモス
魚種:レッドテトラ/ブルーベルベットシュリンプ/カノコガイの仲間

Q 水草や魚種の選定する上のポイントについて教えてください。

水草と魚どちらも水景のサイズ感に合うように選ぶことがポイントです。魚はレイアウトを強調する役目だと考えていますが、それ自体は目立ないようなサイズかつ、群泳する魚を選んでいます。

Q レイアウト制作でいつも心がけていることがありますか？

常にスケール感に気を付けるようにしています。レイアウトを構成する要素である水草、石や流木、魚やエビはすべて適切なスケール感であるべきと考えています。

Q コンテスト入賞の秘訣はありますか？

特にありませんが、私はただ心からアクアリウムを愛し、すべての愛を注いでいます。私

は何かルールに従って制作するのではなく、自身の感性に従って制作しています。

Q IAPLCに応募するきっかけ、また、醍醐味はどんなところにあると思いますか？

IAPLCはアクアリウムを愛するすべての人のための国際的なコンテストです。私はほかの有名なクリエイターと競うことが好きですし、作品を有名な審査員の方々に見てもらえることも嬉しいです。評価は非常に興味深く、次の作品への良い刺激にもなります。

Q アクアリウムクラブに所属している場合は、活動内容をお聞かせください。

私は地元で構成されているトランスクーパジア・アクアリスト・クラブの代表です。2015年より私たちはさまざまなミニアクアリウムの展示会を行っています。話し合いをしたり、水草の交換も行っています。ウクライナ中のア

クアリストを魅了し、ほかの国からの参加者もいます。その他には、自然へ赴いて風景にインスピレーションを受けたりなどもしています。しかし、近年の戦争の影響で2年間開催できていない状況です。来年こそは集まって素敵な時間を過ごせることを祈っています。

Q 世界中の水草愛好家の皆さんにメッセージをお願いします。

アクアリウムのデザインは急ぐことのないクリエイティブな作業です。重要なのはあなたの感性や精神を注ぎ込み、その過程を感じ、楽しむことです。何位になるかは関係ありません。大事なのは楽しさを感じられているか、幸運であるか、ということです。私はすべての人のアクアリウムに対するインスピレーションや創造性があなたに良い感情をもたらしてくれることを願っています。



実際の自然からインスピレーションを受け、緻密に構図を組んでいく。



Closeup Jungle Plants

#03

Bolbitis heteroclita

Text: Yasufumi Shibata



DATA

■ Jungle Plants ジャワファン 1カップ

■ Other Plants BIO みずくさの森 プレミアムモス 1/2カップ

■ Case ガラスポット MARU 130

■ Substrate トロピカルリバーサンド 150mL

■ Materials 雲山石XXS×1

水上育成で野性味を発揮するシダの仲間

今回クローズアップしたのはジャワファンです。水中でも生育が可能なとても丈夫なシダ植物ですが、湿度が高い環境下での水上生活を好む傾向にあるためパルダリウムのようにガラスケースでの生育に向いています。葉に水滴が滴らない程度にミストフローや霧吹きなどで水分を与えて湿度を保つと葉が大きくなり、より野性味を楽しむことができます。また、見た目に涼しさを与えてくれる葉姿のジャワファンは残暑厳しい今の季節にもピッタリの植物です。作例では化粧砂と雲山石と組み合わせることで涼しげな水辺の岩場の雰囲気をイメージしました。

Closeup Point



①テララインで固定して植栽。新しい根が石に活着します。

②葉の表面の子株から増やすこともできます。

③ケースの環境に合った新芽が次々と展開していきます。

水草などの葉やランの花といった植物の持つ特徴的な姿をガラスケース栽培で楽しむことのできる生体製品「ジャングルプランツ・シリーズ」。製品ラインナップの中から毎号1種にクローズアップしてその生態と作例を紹介します。お気に入りのジャングルプランツをシンプルなレイアウトで楽しみましょう!

Love
ADA
GOODS

ラヴ・ADA・グッズ

#15

AP GLASS

NA・DOOA・生体製品のさまざまなラインナップを展開するADA。ここでは各ジャンルの枠を超えてライターの好きなGOODSを紹介します。



Text: Ryuji Ogawa

ネイチャー コラム

NATURE COLUMN

季節ごとのコラムを発信していきます。常日頃からネイチャーに身を置くライターが身近な自然をテーマに

「ぐにぐにつるつる」

第 32 回

文・写真／小川 龍司



きな食べ物にこの種類を挙げる人もいるかもしれません。キノコの仲間のキクラゲ類です。降雨後で色抜けと若干の溶けが進んでいますがおそらくハナビラニカワタケという種類と思われます。キクラゲは食用になってるキノコとしても有名で、乾燥状態で売られたりそのまま売られていたりと見かける姿形はさまざまでしょう。自然界でもその形態は多様でフォルムもカラーリングも千差万別となっています。普段から観察を続いているキラゲ発生ポイントで見かける個体たちも毎日、湿度や生長具合といつた要因と思われますが姿が変わっています。雨が少ないと乾いていないます。雨が多くても流されていななり、雨が多くなればこれからも観察できるのかな、と毎年よく見かけることがあります。ですが毎年必ず出会うことができるため生息地の木々がなくならなければこれからも観察なっています。写真的個体も毎年秋に出向く山にあるウチワカエデの

倒木で撮影したもので、二年続けて発見することができ今年も生えてるのか気になる存在です。渓流沿いのため湿度が供給されやすい環境なのか、この周りにはシロキクラゲなど何種類かのキクラゲが見られる個人的には密かなホットスポットの一つとなっています。見た目通り触ってみるとぐにぐにと弾力があり、表面はぬるっとしたつる感がありました。キノコたちは種類を調べるのが極めて難しく出会つても名前がわからぬことがあります。どんな森で何の木などを地面に生えているのか、季節はいふなどです。どんな森で何の木またかなど生き物そのものの特徴だけではなく自生環境の情報が重要な手がかりとなります。食べられるキノコとして認知されやすいですが、キクラゲの仲間にも食毒不明のものがあるため不注意に口にするのは危険です。かわいい見た目を堪能するだけで大変楽しい生き物ですでの、キクラゲを探しに秋雨の後など潤ったネイチャーへでかけみてはいかがでしょうか。

INFORMATION

ADAの最新トレンドを体感する3日間。

ADA NATURE AQUARIUM GALLERY WELCOME DAY

11/3 FRI 11/4 SAT 11/5 SUN 2023

ADAの水景クリエイターが制作した最新水景作品はもちろん、ガラスケース内で植物の育成を楽しむミニバルダリウム作品やネイチャーアクアリウム・ギャラリーでしか購入できない限定アイテムの販売もございます。この機会にぜひご来館ください。

NATURE AQUARIUM GALLERY / Welcome Day 時間: 10:00-16:00 場所: 新潟県新潟市西蒲区漆山8554-1 入場: 完全予約制(無料)

ご予約についての詳細はADA公式ホームページをご覧ください。www.adana.co.jp
※ご予約は先着制です。定員に達した場合、ご予約を締め切らせていただきます。

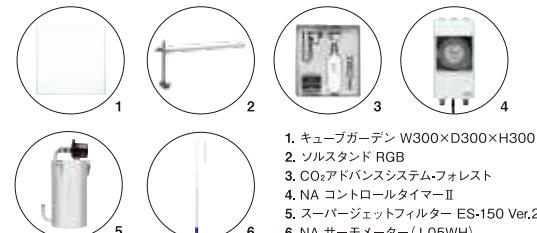


小さな癒しの水槽空間はじめよう。

MINI TANK LAYOUT W300

小型水槽は、身近な癒しの存在として始めるビギナーから、水草レイアウトを追及する玄人まで、その楽しみ方は千差万別です。小型ゆえインテリア性が要求されますが、ADA製品で統一することでスタイルッシュにまとめられます。ADAのシステムで小型水槽を始めてみましょう。

[30cm ミニレイアウトシステムの一例]



STAFF CREDIT

AQUA DESIGN AMANO CO.,LTD.
©2023 Printed in JAPAN

Publisher

天野 しひぶ

Art Direction

NATURE AD DESIGN

Design

丸山 悟司／市川 亮／高遠 将史／板橋 広夢

Editor

杉本 俊輔／岩堀 康太／柴田 康文／小川 龍司／沓澤 亮介／知念 政次郎

総監修・大岩 剛／写真監修・阿部 正敏

Published by
株式会社 アクアデザインアマ
<https://www.adana.co.jp>

Printed by
株式会社山田写真製版所

NEXT AQUA JOURNAL

November 2023 vol.337 / 2023年10月10日(火)発売予定

アクアジャーナルの情報は一部、ADAホームページで公開しています。

ADA NEW LIGHTING SYSTEM
AQUASKY RGB II 60
ADA NATURE AQUARIUM GOODS

令和5年9月10日発行(毎月1回・10日発行) AQUA JOURNAL 10月号(336号)

発行 / 株式会社アクアジャーナル 新潟県新潟市西蒲区立山1855-41 T-953-0054 ADAサービスセンター E-mail / support@adana.co.jp 定価100円 | 本体91円

「アクアスカイ」の最新進化形

ネイチャーアクアリウムに最適な光を目指し、進化を続けてきたADAのライティングシステム。水槽に簡単に設置できるLEDライティングシステム「アクアスカイ」の最新進化形が、「アクアスカイ RGB II 60」です。前モデルから引き継いだ高い基本性能に加え、専用アプリ「ADA CONTROLLER」によって光色や光量を自在にコントロールすることが可能になりました。さらに、タイマー機能やソフトライティング機能も搭載。アプリをダウンロードして、進化したライティングシステムを体験してください。

※専用アプリ「ADA CONTROLLER」は日本国内開発です。製品の購入前に、アプリのインターフェースと各種コントロール機能が確認できるデモモードを搭載しています。



「ADA CONTROLLER」



ADA製品のお求めはお近くの販売特約店まで。詳しくは公式ホームページをご確認ください。 www.adana.co.jp